

# ゆうゆうアグリパーク 営農だより

(No. 58) 平成21年12月21日

発行人 北上川遊水地営農対策推進協議会  
会長 佐藤 憲一  
事務局 一関市中里字上大林157番地1  
電話 ☎ 0191-26-0057  
FAX 0191-26-0065

## 第1地区で農地利用調整行われる

第1地区では、面工事もほぼ終了することから、平成21年2月開催の集落説明会において農地集積の年度別計画等を示した通り、試行的な農地の利用期間として、一時利用地を平成22・23年の二カ年を固定した場所で行なうための農地利用調整が行われました。

農地利用調整の基となる意向調査については、各地区の農地利用調整委員会で実施しましたが、取りまとめに関しての事前研修会を開催し、集積目標の確認、取りまとめ方法等について自主的に取り組み、また、取りまとめ後の集積結果の検討、農地集積方法の仕組み等についても、各地区毎の勉強会を行ないました。

また、農地利用調整作業については、農地利用調整連絡会に於いてエリア区分の策定作業を行ない、4地区の自己完結エリア、担い手エリア、転作エリアの選定を行なった後調整し、施行委員会での一時利用地変更指定が決定されました。

今後、益々、農地利用調整に関しましては、全体の農地集積と連担化が重要になってきますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。



(エリア区分策定作業)

## 第1地区担い手奥様方の菜種栽培

昨年、第1地区の担い手奥様方5名により「菜の花会」として搾油用菜種の栽培に取り組んでおります。

今年は、会員も1名増え6名で活動しています。9月には旦那様方にもお手伝いいただきながら、昨年の倍の43aに挑戦しています。12月には、今年収穫した菜種から搾った油が精油されるので、それを使って料理講習会を予定しています。オレイン酸を豊富に含んだ菜種油の完成が待ち遠しいです。

今後は、菜種をきっかけに集まった輪を絶やさぬよう新たな会員の獲得や菜種以外へも活動の幅を広げていくのが楽しみです。



(菜種播種作業)

## 第1地区転作組合で寒じめ白菜を栽培

今年から第1地区転作組合では、細谷畑団地の1haを利用し、寒じめ白菜の栽培をしています。

品種はW5119、85日タイプで、9月10日から14日まで約2万本の定植作業が行われました。

収穫は12月1日から始まり、20日頃まで行われる予定で、1玉2.5kgを目標とし50トほどを見込んでいます。



(定植作業)



(収穫作業)

## 遊水地内の小麦栽培品質向上セミナー開催

9月17日に遊水地内で小麦を栽培している農事)アグリパーク舞川、農事)アグリ平泉の構成員、第1地区転作組合の担い手を対象として、小麦栽培品質向上セミナーがJAいわて南宮農経済部会議室で開催されました。

講師にはJAいわて南の吉川検査員、遠藤検査員、東北地方農政局地域第3課の片方課長補佐を迎え、実際どのような検査を行うのか、何を重視しているのか等を講義して頂きました。講義後には、遊水地内でどのようにしたら品質の良い小麦が栽培できるのか討議が行われました。



(講義の様子)

## 第2地区「ライス・アートinひらいずみ」実施

農事組合法人アグリ平泉主催の「ライス・アートinひらいずみ」が開催されました。

この事業については、第2地区において初めての田んぼアートで、当初の目的である地域農業振興と平泉の観光への貢献として、世界遺産登録を目指す気運を盛り上げるため実施されました。

5月30日に開催された田植え事業については、約300名の参加があり平泉町グリーンツーリズム協議会の協力で、神奈川県相模原市緑が丘中学校修学旅行の農業体験に取り入れてもらい、参加していただくとともに、地域からの一般参加者も多数参加してもらいました。当日は小雨の中行なわれましたが無事終了し、おにぎりとおいしいソバが振る舞われ大好評でした。

10月24日開催の稲刈り事業については、約250名の参加で、長島小学校の児童とその父兄の皆さんをはじめ、一般参加者にも多数参加していただき順調に作業が進み、作業終了後、昼食にはおにぎりといものこ八斗汁の提供があり、帰りには参加者への記念品として、田んぼアート実施ほ場で収穫したどんぴしゃり等のお土産をいただきました。

今回の田んぼアートを実施した中で、当初の目的である地域農業振興と平泉の観光への貢献については、地域の方が多数参加した農業体験や観光に訪れた方が高館橋から眺めていただいたことで、大成功ではなかったかと思えます。



(8月12日高館橋より撮影)



(刈り取り作業)

## 第3遊水地内 景観づくり 菜の花の種まき行われる

9月17日、第3遊水地内の中谷起地内の県道用地一部に、地域の方や子供達20名が参加し菜の花の種まきが行われました。この取り組みを行っているのは、第3遊水地に農地を持つ農家や地域の非農家、PTAなどで構成する舞川地域遊美保全隊が行っているもので、平成19年度から国の補助事業「農地・水・環境保全向上対策事業」を活用し、遊水地内の農地の適正な管理と農業用施設の保全管理を進めるとともに、自然に学び親しむ環境をつくろうと結成されました。

去年は、県道用地に播種したほかに、農事)アグリパーク舞川が大区画ほ場に播種し、今年のゴールデンウィークに満開となり、地域の方は勿論、わざわざ見物にいられたり、カメラで撮影する方もおり、沢山の人の楽しませました。

今年も昨年と同じ場所に種まきが行われましたが、さらに農事)アグリパーク舞川では県道を挟んで種まきしました。来年の満開時には両側が「菜の花ロード」として通る方の目を楽しませることが期待されます。



(播種前の説明)



(播種作業)